

## AOAC INTERNATIONAL とは…

分析科学分野で分析法のバリデーション、分析の実務、精度管理等に携わる官民の科学者、行政官、その他組織から構成されており、米国を中心に約 90 ヶ国、約 4,000 名の会員がおります。

設立は 1884 年、米国内の肥料検査法統一化組織に遡り、1965 年、Association of Official Analytical Chemists となり、分野が拡大しました。1970 年には北米以外の会員加入、1980 年には地域セクションの設立と活動の場を広げ、現在(2007 年 8 月)、北米、南米、欧州、アジアに 16 のセクションがあります。主な活動は次のとおりです。

### 1. AOAC 法など検査法のバリデーションと出版活動

一般に AOAC 法と呼ばれる“Official Methods of Analysis of AOAC INTERNATIONAL”の評議・監修を行っており、現在、第 18 版(2000 以上のバリデーション済分析法を収載)が刊行されています。同書と論文誌“Journal of AOAC INTERNATIONAL”は世界各国のあらゆる分析機関に常備または購読されているとまでいわれています。また“Inside Laboratory Management”(会員機関誌)ほか多数の出版を行っています。

### 2. 年次総会の開催

既に 120 回を数えますが、毎年約 1 週間にわたり、延べ千名以上の参加者が世界各地から集い、各種分析法の研究発表とシンポジウム、研修会、展示会が行われます。

### 3. 研修会の開催

「試験室の信頼性保証」、「ISO 17025 による試験室のマネジメント」、「統計学的手法」、「試験室内での分析法バリデーション」など 1～3 日間の研修会があります。

特に、AOAC 公認法(OMA)については、世界中の産官学の科学者が参加できる、AOAC INTERNATIONAL 独自のコラボラティブスタディを中心にバリデーションされており、かつそのバリデーションの方法自体が、公正でユニークなものとして各国分析科学者の間で信頼度の高いものと評価されています。

## AOAC インターナショナル日本セクションとは…

日本セクションは、AOAC INTERNATIONAL の活動に参加し、わが国からの情報も積極的に発信することで、国際的なコミュニケーションをとりながら、日本の分析科学分野の発展とグローバル化に資するべく 1998 年 10 月、アジア初のセクションとして発足しました。

本会は、学会でも、研究機関でもありません。また単に AOAC INTERNATIONAL の活動を日本に知らしめるためだけの広報機関でもありません。分析科学に携わる個々人の自発的な協力活動と自由闊達な交流の場として、多方面の方々賛同を得、多大なご協力とご支援をいただいています。

その分野は、食品、添加物から医薬化粧品全般、農学、環境の研究をはじめ、健康、医療、バイオテクノロジー、機器、資材、統計、コンピューティングなどの各分野におよび、また会員の立場もさまざまで、大学、私企業、公的研究機関の研究者、製造管理から企画・営業担当者、行政担当者あるいは一個人まで幅広く参加して頂いております。

日本セクションの目標と活動は以下のとおりです。

1. AOAC INTERNATIONAL の活動を日本国内に知らせると同時に、日本での活動を推進・支援する。
2. コラボラティブスタディのメンバーとして参加したい試験所・技術者の皆様に情報を提供する。
3. 自ら開発した分析法のコラボラティブスタディを実施したい方に助言する。
4. 書籍類の翻訳や研修・シンポジウムのレポートを行う。
5. セクション年次総会および研修・シンポジウム等を開催し、分析科学に関する自由な討論・研究の場を提供する。
6. ニュースレター等を発行する。

日本セクションへのお問い合わせは(会長)安井明美 [E-mail:ayasui@affrc.go.jp,  
 TEL: 029-838-7499、農業・食品産業技術総合研究機構、食品総合研究所 内]まで

入会申込は申込書にご記入の上 FAX で 03-3707-6950(会計幹事)四方田(よもた)(国立医薬品食品衛生研究所内)まで別途、年会費 2,000 円を郵便局払込口座 記号 00130-7-99183 AOAC Intl 日本セクションまで。入会金は不要です。なお AOAC INTERNATIONAL への入会には別途、申し込み(年会費 120US ドル)が必要となりますので、お問い合わせ下さい。